

弁護士任官について

日本弁護士連合会
副会長 川中 宏

- 第1 弁護士任官制度の始まり
 - 1 最高裁と日弁連との1991年（平成3年）10月合意が始まり
日弁連の評価(1992年5月総会決議)
低調に推移してきた
 - 2 低調の原因

- 第2 新しい弁護士任官制度の始まり
 - 1 最高裁と日弁連との2001年12月「取りまとめ」
 - 2 その内容（資料集28頁）
 - 3 新「取りまとめ」の意義
 - 4 任官適格者選考委員会の設置（資料集63頁以下）

- 第3 弁護士任官進展の可能性
 - 1 弁護士会の努力
 - (1) 第19回司法シンポジウムの開催
 - (2) 任官促進の環境整備
 - 法律事務所の共同化・法人化
 - 任官も展望した公設事務所の設置
 - 弁護士任官支援事務所
 - 弁護士への復帰を容易にする法制度の整備
 - 弁護士任官者に対する経済的支援
 - (3) 弁護士任官等推進センターの設置
 - 2 非常勤裁判官制度の発足（資料集39頁）
 - 3 「下級裁判所裁判官指名諮問委員会」の設置
任命手続きの透明化、客観化の確保
 - 4 弁護士任官を進める意義の再確認と共有化